

薬物動態・代謝



DONDON VOL.147

Absorption
Distribution
Metabolism
Excretion



質量分析機器

分注機能付きESIスプレー



従来のイオン源に比べ、TriVersa NanoMateのインフュージョンスプレーによりサンプルを長時間スプレーすることができます。その結果、今までにない超高感度での分析が可能となります。

構造解析用LC/MSn



質量範囲が20～3000 μ を測定可能です。独自のイオンパスによってイオントランスミッションが向上し高い感度と再現性を備えています。

DARTイオン源



サンプルを前処理することなく、直接イオン化ガスにかざすことにより簡便・迅速にMS測定を行うことができます。固体・液体・気体サンプルを広い極性範囲でイオン化・分析が可能です。

MITSUWA FRONTECH CORP.

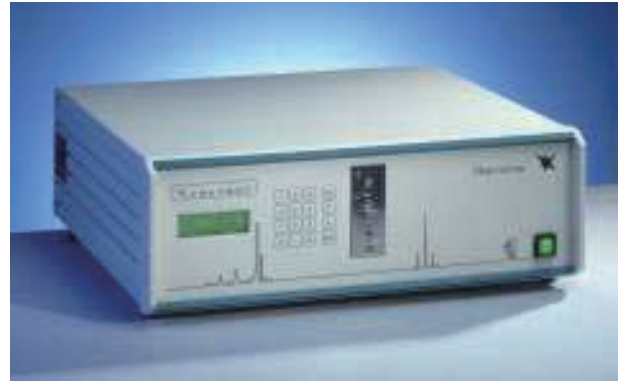
クロマトグラフ関連機器

高速液体クロマトグラフ



耐圧は80MPa、流量はMAX5mL/minを様々なカラムで使用することが可能です。分離能の向上・温度による選択性の向上の分析に対応できます。

LC用RIディテクター



高エネルギー・低エネルギーのβ線やγ線も安定に高感度で測定することができます。デュアルラベルサンプルの同時測定も可能です。

パラレル精製装置



各チャンネルに最大8波長切り替え可能なUV検出器を搭載しており、タッチパネルで操作できます。リアルタイムの圧力値をモニタリングでき、TLCデータから最適分取条件を自動計算が可能になりました。

Corona検出器



製薬、脂質、タンパク質、糖、イオン、オリゴ糖からポリマーや界面活性剤等、様々なアプリケーションに幅広く対応。発色団を持つものや持たない分析種、他の検出器では検出不能な、様々な不揮発性、半揮発性分析種の分析が可能です。

光散乱検出器



水系移動相から有機系移動相を高感度検出ができ、正確な蒸気相制御ができます。ELS検出用熱分割チャンバーとsub-ambient冷却の両方が可能です。

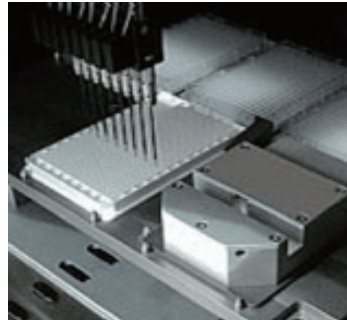
酸化プロセスシミュレーションツール



酸化試料の生体内における薬物代謝状態に近似な状態を生成し、薬物代謝の予測ができます。オンラインで代謝産物の生成が可能です。

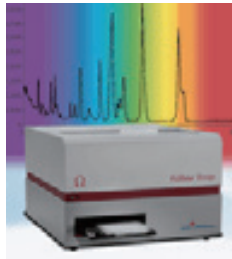
自動化機器

自動分注ワークステーション



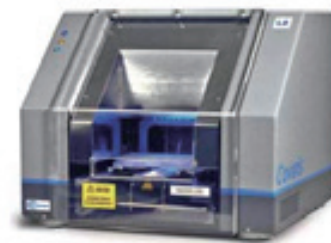
96well・384well マルチチャンネル分注オプションを搭載した、全自動リキッドハンドリングプラットフォームです。ユーザーニーズに合わせて、拡張性と柔軟性によって仕様変更や機能追加など簡単にを行うことができます。

蛍光プレートリーダー



フルスペクトル吸光度測定機能を搭載したマルチプレートリーダーであり、220～850 nm を分解能 1 nm で感知します。タンパク質定量・レポーター遺伝子アッセイ・酵素活性試験が可能。

アコースティックルビライザー



動物組織や細胞を微小領域に高出力で安定した一点集中に超音波を発生させ、動物組織・細胞を破碎・分解・溶解などを自在に実行が可能です。発生した熱を瞬時に逃すことができサンプルに影響を極力少なくすることができました。

多機能型分注ワークステーション



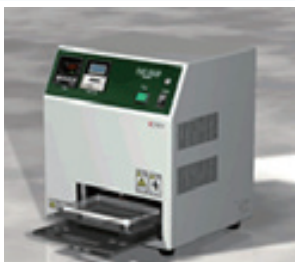
96/386ch で同時分注装置を備えており、Pre-PCR/Post-PCR または immunoassay に最適です。固相抽出フィルトレーションにも使用可能です。

全自動サンプル貯蔵庫



サンプル管理からスクリーニングプレート作成の自動化を行い、低分子化合物から DNA の保管・管理を提案します。分注器・秤量器などご使用される機器との連携も含めた、粉末から溶液までサンプルの統合管理システムを構築します。

マイクロプレートシーラー



各種のマイクロプレートにシールを自動的に貼り付ける事が可能です。シールされた試料の蒸発がないため保存に適しています。

トランスポーター活性測定システム



膜輸送タンパク質・動物細胞を被膜加工を施した金電極で活性させ、電気生理学的に測定が可能です。生きた細胞でなく膜そのものを測定するため、安定性・再現性に優れています。

電気泳動機器

パラレル等電点電気泳動



目的タンパク質やペプチドなどを検出する事が出来ます。最大6チップを同時に分画が可能であり、チップを攪拌しながら等電点フォーカシングできるため、分解能・再現性の高い結果を取得できます。

電気泳動RI検出器



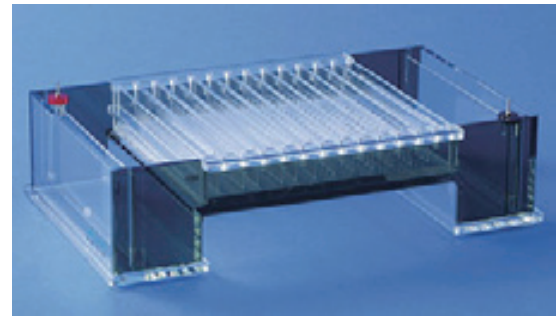
蛍光の持続性に優れた Infrared 色素を利用したアッセイで検出します。独立した2チャンネルの光学系を搭載しており、同時に2波長のシグナルを検出可能です。

ゲル撮影装置



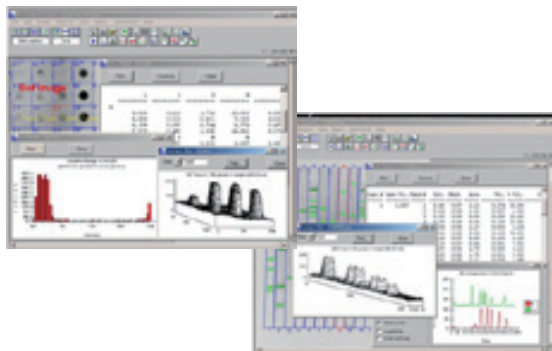
140万画素、16-bitの高性能 CCD カメラを使用しています。EtBr 用バンドパスフィルターを標準添付しています。サチュレーション表示機能が付いています。電動ズームとマニュアルズームから選択できます。

電気泳動装置



ゲルラックをセットした状態でゲルを作製し、その状態で32～384サンプルを同時電気泳動処理することが可能です。

電気泳動画像解析ソフトウェア



Bio Image のボリューム定量法によってバンドやスポットを正確に定量できるソフトウェア。分子量換算・1次元電気泳動画像解析機能・ドットスロットプロット解析・コロニーカウントが可能です。

磁気細胞分離装置



最大96サンプルを同時処理する事が可能です。分注機と組み合わせることで自動化する事ができます。

濃縮機

高速濃縮装置



高速バイアル回転、加温エア吹き付け、減圧の3種を組み合わせにより、従来のロータリー・遠心タイプに比べて最大40倍もの早さでエバポレーションが可能です。バイアルサイズは1.5～2.0ml・4ml・20ml・30mlに対応。正確な温度制御とバイアルの高速回転による壁面へのサンプル乾燥により、加熱や突沸などでサンプルがロスする懸念を解消します。

吹付け型濃縮装置



様々な容量のサンプルに合わせて機器があります。ガスボルテックスシアリング法と光学センサーにより、有機溶媒を高速に且つ高効率に蒸発させます。エンドポイントを設定し、揮発性物質の損失を防ぐことが可能。

高速遠心濃縮機



濃縮チャンバー・ポンプ・コンデンサーを一体化した遠心濃縮装置であり、低沸点溶媒の濃縮に適しています。IR温度センサーがサンプルの温度を感知し過加熱を防止。

真空凍結乾燥器



予備凍結を行うことができるため共晶点が高いサンプルに適しています。真空制御ができるため、サンプルの温度を一定に保つことが可能です。

ロータリーエバポレーター



テフロン製真空シールを採用。耐久性・耐薬品性に優れていて、高速で回転しても、長期間の使用が可能です。ワンタッチコネクタノズルとワンタッチ保冷ホースの採用により、冷却水を循環するホースの着脱が簡単に行えます。

遠心濃縮機



大容量の専用フラスコ6本を同時に濃縮する遠心エバポレーターです。低温の蒸気で加熱するので、従来の遠心エバポレーターよりも、約3倍のスピードで濃縮処理が可能です。SampleGenieタイプの専用容器を使用すれば、濃縮したサンプルを小型バイアルに回収することができます。

実験機器

CO₂インキュベーター



結露を防止しながら 180℃ 乾熱滅菌を行い、培養環境の安定とコンタミネーションの防止が可能です。設定温度で CO ガスをインキュベーター内に注入し、ファンが無くても一定温度を保つ事ができます。

オートクレーブ



仕様温度は 105 ~ 132℃ の範囲です。常に収容状況に適した滅菌状態を維持する事ができます。容量は 76 リットルまで可能です。

超低温槽



ダブルドア構造によって、開閉による庫内の温度影響を受けにくくなっています。温度範囲は -50 ~ -86℃ まで調整が可能となっています。

冷却遠心機



最大遠心加速度 55,202xg の遠心分離が可能でありロータ登録が操作パネルから登録できる。

超遠心機



一度に 12mL チューブ 32 本を同一遠心加速度で遠心分離できます。最大遠心加速度 100,000xg 以上で多検体処理が可能です。

安全キャビネット



独自の構造とテストに裏付けられた高い気流性能の安全キャビネットです。日常点検やメンテナンス性にも優れています。

硬質ガラス製代謝ケージ



マウス用・ラット用の硬質ガラス製代謝ケージです。化学物質の生体内の代謝過程と代謝物動態の検索するため、無処理動物にストレスを与えずに反復投与実験を行う事ができます。

麻酔機



手動ではなく機械で麻酔呼吸管理が可能になっています。リアルタイムでモニタリングする事ができます。

手術台



最大 40kg までの動物用手術台です。解剖・手術に適しています。

実験機器

PH計



タッチパネルで操作が可能です。日本薬局方測定に対応したアプリケーションを搭載しており、電気伝導率の測定・判定・データ保存を自動化する事が可能になりました。

分析天秤



計量皿の表面積を小さく対流の影響を最小化し、天秤に触れずに測定可能のため、サンプルの飛沫によるコンタミネーションのリスクを最小限に抑える事が可能です。

ピペット



同時に一貫したサンプルローディングを確実し、速いチップローディングや生産性向上を可能にします。ピッチ間隔調整をする事ができ、お客様のニーズに合わせて調整する事ができます。

自動細胞分離装置



高い再現性で多サンプルの高速ソーティングができ、自動で標的細胞を分離する事が出来ます。自動磁気標識装置やセンサー制御する事が可能です。

TLCイメージ解析装置



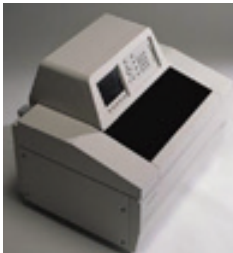
様々なタイプのイメージプレートに対応し、350 x 432mmまでの検出範囲を高解像度・高速スキャンングでイメージング可能です。低放射線サンプルやオートラジオグラフィイメージングを行う事ができます。

高精度シリンジポンプ



低流速な送液を可能にし、最小でも0.0001 μ l/hrも送液出来ます。プログラム制御された高精度でスムーズな送液を行う事ができます。

液体シンチレーションシステム



4,000ch マルチチャンネルアナライザーおよび自動ゲイン切り替えによる高分解能測定が可能。

NMR



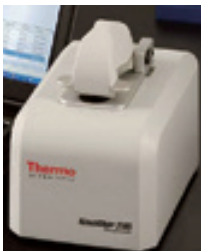
UltraShield 磁石が標準構成でデジタルNMRを行う事ができます。固体測定への拡張可能になっています。

自動細胞細切機



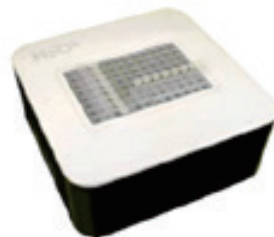
オートラジオグラフィや解剖学的解析ば試料を最大 450mm の大きさに凍結切片を作製できます。温度、切削モード、切削ストローク、デフロスト、乾燥などの設定を行う事ができます。

分光光度計



通常の UV-VIS 分光光度計と同等以上のパフォーマンスができます。広いダイナミックレンジで測定を可能になりました。

冷却ドライバス



仕様温度は 105 ~ 132°C の範囲です。常に収容状況に適した滅菌状態を維持する事ができます。容量は 76 リットルまで可能です。

ウェスタンブロット法自動化システム



ウェスタンブロット法の抗原抗体反応の工程（試薬の分注、インキュベーションおよび洗浄）を高速自動化します。スループットに応じて、最大 48 サンプルまで処理が可能です。

破碎・攪拌機器

ホモジナイザー



様々な組織に対して特定のプログラムと酵素処理を組み合わせ、細胞分離・フローサイトメーター・培養等の前処理として使用できます。また、組織を完全にホモジナイズすることにより、生体分子の抽出を行うことも可能です。

多検体細胞破碎機



動植物組織・微生物・粉体などの多検体を同時に常温・氷温・凍結状態等各種温度条件で破碎・粉碎することができます。サンプルによって、抽出溶液を入れたままの破碎から遠心、回収工程までの時間短縮が可能になりました。

ホモジナイザー



使い捨て密着チューブタイプを使用しており、クロスコンタミネーションがありません。サンプル容量は2～16mLが上限であり、乾式粉碎・脆性サンプル・浸軟後の細胞・動物組織などを分散・攪拌・粉碎処理が可能です。

ポルトロンホモジナイザー



あらゆる物を破碎・乳化・混合する事ができ、回転数や処理時間をコントロールすることが可能です。

ボルテックス



サンプルを素早く渦巻きを発生させる事が出来ます。試験管以外にもマイクロチューブやプレート、ビーカー、フラスコをミキシングをする事が可能です。

超音波ホモジナイザー



サンプルを破碎だけでなく、その強度と時間を調節することによって分散・攪拌・洗浄・乳化・脱気・噴霧といった様々な応用が可能。様々な用途に対応するプローブがあります。

株式会社 **ミツワフロンテック** MITSUWA FRONTECH CORP.

本社 〒530-0041 大阪市北区天神橋3-6-24 TEL.06(6351)9677 東京支社・営業所 TEL.03(5695)1082
 宇都宮営業所 TEL.028(678)5316 横浜営業所 TEL.045(624)8390 岡山営業所 TEL.086(423)6030 周南営業所 TEL.0834(34)5701
 つくば営業所 TEL.029(849)3615 神奈川営業所 TEL.046(297)7800 広島営業所 TEL.082(262)0789 宇部支店 TEL.0836(21)4146
 千葉営業所 TEL.043(204)1571 滋賀営業所 TEL.077(553)0143 光営業所 TEL.0833(71)3232 培養部 TEL.0833(43)5751

MITSUWA FRONTECH CORP. info@mitsuwa.co.jp <https://mitsuwa.co.jp/>